

第65回青少年読書感想文 島根県コンクール入選作品【自由読書】決まる

夏休みに皆さんの宿題として提出された読書感想文は、校内選考を経て、島根県高校審査をこのほど向かえました。その結果、2年総合学科の藤井えみさんが優良賞を受賞しました。藤井さんは、「立ち向かう強さ」と題して、ヴィヴィアナ・マツァ著「武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り」を読んだ感想でした。おめでとうございます。

さて、今年度本校に赴任してこられた先生方に、本校生におすすめの本を紹介してもらいます。ぜひ、この季候の良い「読書の秋」に読んで見てください。

最初の登場です。

黒川将希先生（工業科）のおすすめ本です。

タイトル『ここを整える』 著者 長谷部 誠 出版社 幻冬舎（図書館にあり）

2018 FIFAワールドカップロシア大会の時にテレビで紹介されていたのがこの本と出会ったきっかけです。本の内容は、サッカー日本代表のキャプテンを務めた長谷部誠選手の日常の習慣や試合や練習での意識してきたことをまとめた1冊です。この本を大学生の時に読んで、日常生活から、生き方、仕事への向き合い方など、いろんな場面で気づかされるがあったと同時に、読み終わった後にポジティブな感情でいっぱいになる本でした。

大学生の時には、本の内容を読んで自分の中であまりしっくりときていない内容の場面もあったが、4月から社会人として働き始めて、改めてこの本を読んでみると、「整理整頓は人生の半分」「正解や考えは常に変わっていくもの」など大学生の時とは本を読んで感じ方が違うところもあり、高校生のみなさんにもぜひ、読んでもらいたいおすすめの本です。

高橋由香先生

タイトル『フランス人は10着しか服を持たない〜パリで学んだ“暮らしの質”を高める秘訣〜』

著者 ジェニファー・L・スコット 翻訳 神崎 朗子 出版社名 大和書房

（図書館にあり）

裕福ではないが、お金には困っていない。(笑)私は、引っ越しをする機会が多く、その度に断捨離して、そしてまた安易に買う、その繰り返しでした。この本は、ファッションだけでなく、むしろ生活や生き方を考える本だと思いました。内容を一言で表すなら、「量より質」。そして、それは物だけでなく、心、時間、空間あらゆるものに当てはまると感じます。本当の裕福さってなんだろう？ コーヒー片手に考えたくなる一冊です。